

市場経済

市場経済は、三つの主要な経済体制の一つである。市場に参加するものが、誰も価格支配力を持たないとき、その市場は純粋競争市場あるいは完全競争市場であるという。

I. 経済体制の分類

A. 二面からの分類

1. 調整メカニズムの違い

- a. 市場： 分権的意思決定と自由な交換
 - (1) 価格の働きによる需要と供給の調整
 - (2) 人々の好みと生産の可能性を示すシグナルとしての価格
- b. 計画： 集権的意思決定と指令
- c. 因習： 「しきたり」に従う経済活動

2. 生産手段（生産者財）の所有に関する制度の違い

- a. 私有制
- b. 公有制

B. 調整メカニズムと所有制度のさまざまな組み合わせ

1. 自然な組み合わせ

- a. 市場と私有制： 資本主義市場経済（自由企業経済）
- b. 計画（指令）と公有制： 社会主義計画（指令）経済

2. その他の組み合わせ

- a. 市場と公有制： 社会主義市場経済
- b. 計画（指令）と私有制： 資本主義計画（指令）経済

II. さまざまなタイプの市場

A. 純粋競争市場または完全競争市場

1. 市場が純粋競争となるための条件

- a. 集中度が低い
- b. 製品差別化がない
- c. 市場情報が全員に行きわたっている
- d. 参入障壁がない

2. 「純粋競争」と「自由競争」の違い

- a. 純粋競争は実現し難い理想
 - (1) 純粋競争が社会にもたらす利益
 - (2) 法と規制の必要
- b. 自由競争の害悪
 - (1) 独占化
 - (2) 鬭争と市場秩序の破壊

B. 不完全競争市場

1. 独占市場 monopoly と買手独占市場 monopsony
2. 寡占市場
 - a. 個々の競争者の意思決定と競争相手の意思決定の依存関係
 - b. 共謀の可能性
3. 独占的競争市場
 - a. 多数の競争者
 - b. 製品差別化を通じた独占力

参考文献

教科書，第 0 章。

Grossman, Gregory (1967) *Economic Systems. Foundations of Modern Economics Series*. Englewood Cliffs, New Jersey: Prentice-Hall. (大野吉輝訳『経済体制論』東京：東洋経済新報社，1969.)

Chamberlin, Edward H. (1933) *The Theory of Monopolistic Competition: A Re-orientation of the Theory of Value*. (青山秀夫訳『独占的競争の理論』東京：至誠堂，1966.)

Keynes, John M. (1926) “The End of Laissez-Faire.” In *Essays in Persuasion*. (『ケインズ全集』第 9 巻。東京：東洋経済新報社。)

Robinson, Joan V. (1933) *The Economics of Imperfect Competition*. 加藤泰男訳『不完全競争の経済学』東京：文雅堂書店，1956.)

Stigler, George J. (1968) “Competition.” In *International Encyclopedia of the Social Sciences*.